

ガントリークレーン運転手帳

2025～2029年

連絡先電話・ファックス番号

緊急・故障・立会要請の連絡先

飛島ふ頭北管理棟 整備課

当直(主) 090-2262-8100

当直(副) 090-2576-7300

代 表 0567-55-1959

使用内訳書・点検表の送信先

飛島ふ頭北管理棟 整備課

FAX 0567-55-0255

その他連絡先

飛島ふ頭変電所 監視室

TEL 0567-55-0560

NCB管理棟 安全管理室

TEL 0567-55-1911

NCB管理棟 警備室

TEL 0567-55-1951

はじめに

この手帳を活用し、飛島ふ頭東側の
ガントリークレーンの事故防止、
故障防止にご協力ください。

目 次

I	ガントリークレーンの使用について	1
1	関係法令等の遵守	1
2	作業開始前の点検、終業点検の実施	1
3	栈橋での注意事項	1
4	クレーン使用の一時中止	2
5	緊急時の連絡	2
6	付帯設備の使用について	3
II	ガントリークレーンの運転について	5
1	注意事項	5
2	異常時の措置	5
3	起伏運転	6
4	巻上運転	7
5	横行運転	7
6	走行運転	8

表1	使用内訳書・点検表	9
図1	飛島東平面図	10
表2	走行範囲（クレーン中心位置）	11
図2	北 2～4号走行範囲	12
図3	NCB1～4号 走行範囲	13
図4	NCB 5, 6号 走行範囲	14
図5	南 1～6号走行範囲	15
表3	名古屋港ガントリークレーン一覧	16
表4	オーバーハイトアジャスター一覧	22
表5	重量物フック一覧	24
表6	略称一覧	25
表7	自主検査に関する法令	26
表8	クレーンにおける風速の解説	28

I ガントリークレーンの使用について

安全な荷役のため次のことを守ってください。

1 関係法令等の遵守

労働安全衛生法、クレーン等安全規則、飛島ふ頭北・南コンテナターミナル港湾施設約款、操作要領その他関係法令を守ってください。

2 作業開始前の点検、終業点検の実施

- (1)「点検表」(表1)にそって実施すること。
- (2)異常を発見したときは直ちに報告し(表紙裏参照)、点検表にも記録すること。
- (3)荷役終了前に、終業点検の立会を要請すること(表紙裏参照)。
- (4)使用内訳書・点検表は荷役作業終了後に、遅滞無く提出すること(表紙裏参照)。

3 栈橋での注意事項

- (1)ガントリークレーンの使用に際しては、栈橋に玉掛け作業員を配置すること。
- (2)リミットスイッチ、ダンパー等の安全装置には触れないこと。
- (3)給電ケーブルは6600ボルトの高電圧であり、ケーブルには絶対に触れないこと。

4 クレーン使用の一時中止

次の各号のいずれかに該当するときは、使用を一時中止してください。なお、気象状況から逸走が予想されるときは、逸走防止装置(アンカー)を用いてください。

- (1) 平均風速10m/s以上のとき。
- (2) 名古屋港長から第二警戒体制が発令されたとき。
- (3) 気象状況から危険が予想されるとき。
- (4) 暴風特別警報、暴風雪特別警報、高潮特別警報、大津波警報、暴風警報、暴風雪警報、高潮警報、津波警報又は津波注意報が発表されたとき。
- (5) 地震でクレーンが大きく揺れたとき、又は震度4以上が観測されたとき。
- (6) 南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)が発表されたとき。
- (7) 作動、音、振動などに異常が発生したとき。
- (8) 前各号に掲げるもののほか、クレーン維持管理者が特に必要と認めるとき。

5 緊急時の連絡

使用者は、事故、故障、損傷、異常等の緊急を要する場合は、直ちに連絡してください(表紙裏参照)。

6 付帯設備の使用について

(1) 搭乗設備を使用する場合

ア 用途

搭乗設備を船舶上の貨物の固定又は、解放作業以外の用途に使用しない。

イ 搭乗員の遵守事項

- (ア) 搭乗定員は2名までとすること。
- (イ) 搭乗中は、墜落制止用器具を使用すること。
- (ウ) 搭乗中は、搭乗口の鎖を掛けること。
- (エ) 搭乗中は、手摺を持つこと。
- (オ) 飛び乗り又は飛び降りはいけないこと。
- (カ) ワイヤロープ、滑車等駆動部には触れないこと。
- (キ) 搭乗中は、危険な行動をとらないこと。

ウ 運転者の遵守事項

- (ア) 搭乗員が上記イを遵守しているか確認すること。
- (イ) 搭乗員に危険がある場合は、作業を停止すること。
- (ウ) 搭乗設備の使用中は、コンテナを吊らないこと。

エ 作業時の遵守事項

- (ア) 搭乗設備の制限重量は350kgを超えないこと。
- (イ) 固縛用具、資材等が搭乗設備からはみ出さないようにすること。
- (ウ) 運転者と搭乗員は連絡をとりながら作業を行うこと。

(2) オーバーハイトアジャスター(北2号にはありません。)を使用する場合

ア オーバーハイトアジャスターの連結は「操作要領」に従うこと。

イ 取付け時はスプレッダをゆっくり巻上げ、異常がないことを確認すること。

ウ NCB 5, 6号、南 1, 2, 3, 6号は45ftコンテナにも使用可能です。

エ 台車の旋回時は速度を落とすこと。

(3) 重量物フックを使用する場合

ア 当直者に立会いを依頼すること(表紙裏参照)。

イ 重量物フックに取替えたら、運転室の『吊具選択』スイッチを『フック』又は『重量物』にすること。

(4) エレベータを使用する場合

ア 定員3名(積載荷重240kg)までとすること。

イ 強風時(16m/s以上)及び地震時は運転しないこと。

ウ 各階扉は、乗降するとき以外は開閉しないこと。常時は、「閉」とする。

II ガントリークレーンの運転について

安全な荷役のため次のことを守ってください。

1 注意事項

- (1) 操作要領の遵守すること。
- (2) 電気室には入室しないこと。
- (3) 過荷重や故障等の警報は無断でリセットしないこと。
- (4) ガントリークレーン操縦中は携帯・スマホ等を操作しないこと。
- (5) 荷を吊ったまま運転席を離れないこと。
- (6) 運転席を離れる時は『主幹(運転準備)』を「切」にすること。
- (7) ガントリークレーン内は禁煙すること。
- (8) ごみは各自で持ち帰ること。

2 異常時の措置

- (1) 運転中に異常が発生したら『非常停止』ボタンを押し、マスターコントローラーを0ノッチにすること。
全ての動作が停止します。
- (2) 運転中に異常を感じたら『データセーブ』ボタンを押して状態を記録してください。
ただし、北2号、NCB5,6号、南1,2,3,6号は『データセーブ』ボタンがありません。

3 起伏運転

(1) ブーム下降時

ア 下降中は角度計とモニター映像で状態を監視すること。

イ モニターが映っていないときは映像電源を自動にするか、電源を直接投入すること。

ウ 下降終了時には、正常に停止していることを表示灯で確認すること。

エ ワイヤのたるみが無くなるまで横行しないこと。

※ブームは一旦巻き上げられるため、「上昇」が表示されるクレーンがあります。

(2) ブーム上昇時

ア 終業時は上昇させる前に終業点検立会者に安全を確認すること。

イ 上昇中は角度計とモニター映像で状態を監視すること。

ウ 上昇終了時には、「ブーム固定」や「アンカー」の表示灯を確認すること。

4 巻上運転

- (1) 定格荷重を超える荷を吊らないこと。
- (2) 地切り時は一旦停止し、安全を確認すること。
- (3) 着床時は一旦停止し、安全を確認すること。
- (4) ツイストロック操作時は『ロック』『アンロック』の表示灯を確認のうえ、巻上げること。
ツイストロックの事前操作は行わないこと。
- (5) ワイヤロープが大きく弛んだ場合は巻き上げず、当直者に連絡すること(表紙裏参照)。

※NCB 5, 6、南1, 2, 3, 6号機は20ftの2個吊り上げが可能です。

5 横行運転

- (1) 横行海限、陸限付近では減速し、極限にも注意すること。
- (2) 故障復旧時にはトロリー上に人がいないか、残置物がないか作業者に確認すること。
- (3) シルビーム付近では減速し、接触にも注意すること。
- (4) 横行と走行の同時運転時は広範囲の安全を確認すること。

6 走行運転

(1) 玉掛け作業員と連絡をとり、以下について安全を確認すること。

ア レール及びケーブル溝の状態

イ 隣接クレーン及び停止車両等の離隔

ウ 船舶のブリッジ・マスト・クレーン・タラップ等の離隔

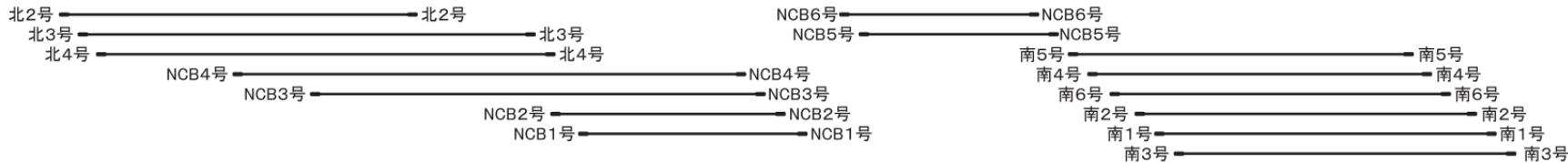
(2) 起伏の中間位置で走行しないこと。

(3) 急激な起動、停止は避けること。

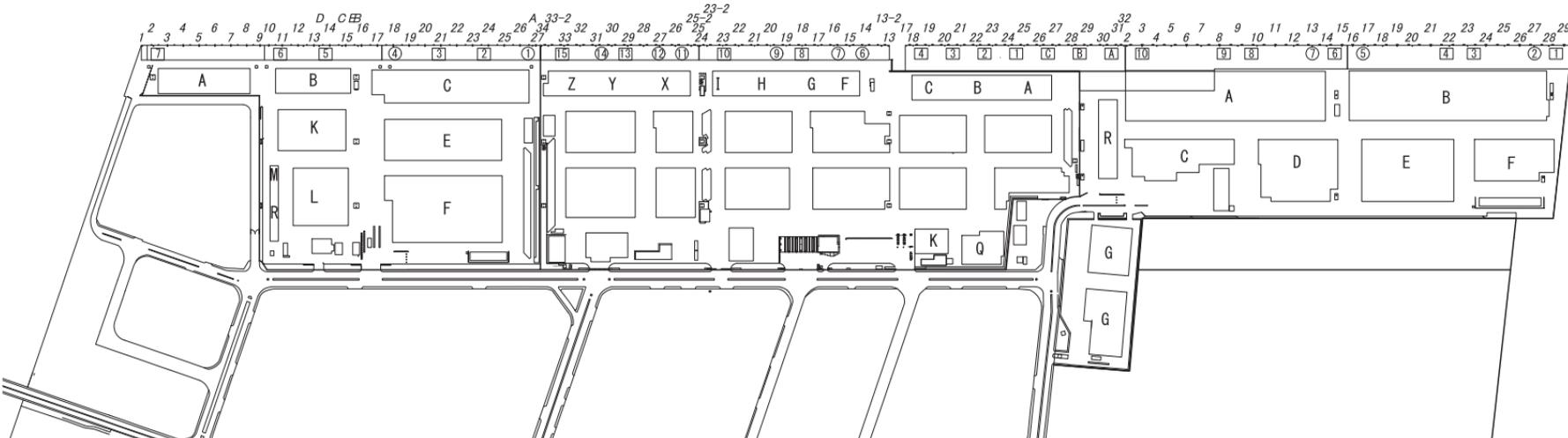
(4) 逸走防止のためレールクランプのスイッチは『自動』を選択すること。

飛島ふ頭東側コンテナターミナル

2024年12月時点



W90 185m	W91 185m	W92 250m	R3 250m -12M	R2 300m -12M	R1 347m -15M	W93 350m -15M	W94 350m -15M
----------	----------	----------	--------------	--------------	--------------	---------------	---------------



走行範囲（クレーン中心位置）（表2）

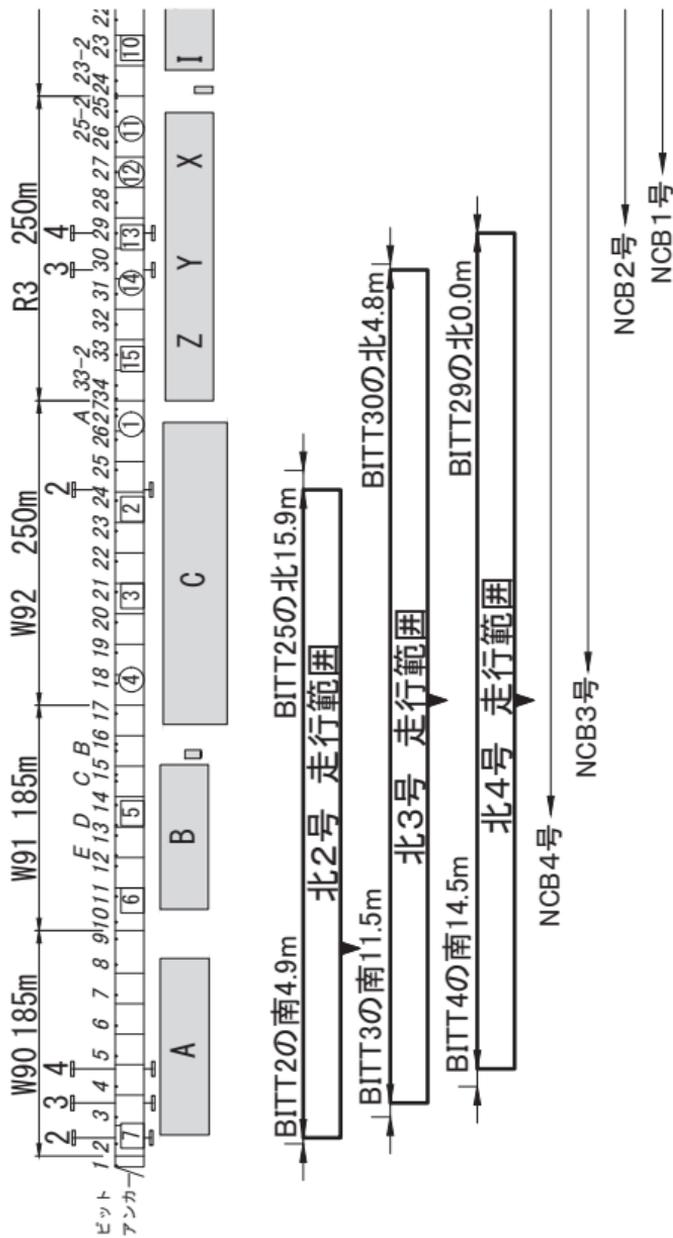
	北 限	南 限
北2号	W90 BITT 2 の南 4.9m	W92 BITT 25 の北 15.9m
北3号	W90 BITT 3 の南 11.5m	R3 BITT 30 の北 4.8m
北4号	W90 BITT 4 の南 14.5m	R3 BITT 29 の北 0.0m
NCB4号	W91 BITT D の南 9.0m	R2 BITT 17 の北 8.7m
NCB3号	W92 BITT 18 の南 10.4m	R2 BITT 16 の北 3.9m
NCB2号	R3 BITT 29 の南 8.1m	R2 BITT 14 の北 23.4m
NCB1号	R3 BITT 27 の南 0.4m	R2 BITT13-2 の北 15.1m
NCB6号	R1 BITT 18 の南 10.9m	R1 BITT 30 の北 15.2m
NCB5号	R1 BITT 19 の南 15.2m	R1 BITT 31 の北 6.5m
南5号	W93 BITT 2 の南 11.5m	W94 BITT 23 の北 25.2m
南4号	W93 BITT 3 の南 17.1m	W94 BITT 24 の北 25.2m
南6号	W93 BITT 4 の南 28.2m	W94 BITT 25 の北 20.1m
南2号	W93 BITT 7 の南 10.6m	W94 BITT 26 の北 10.1m
南1号	W93 BITT 9 の南 12.6m	W94 BITT 28 の北 22.3m
南3号	W93 BITT 10 の南 24.6m	W94 BITT 29 の北 12.3m

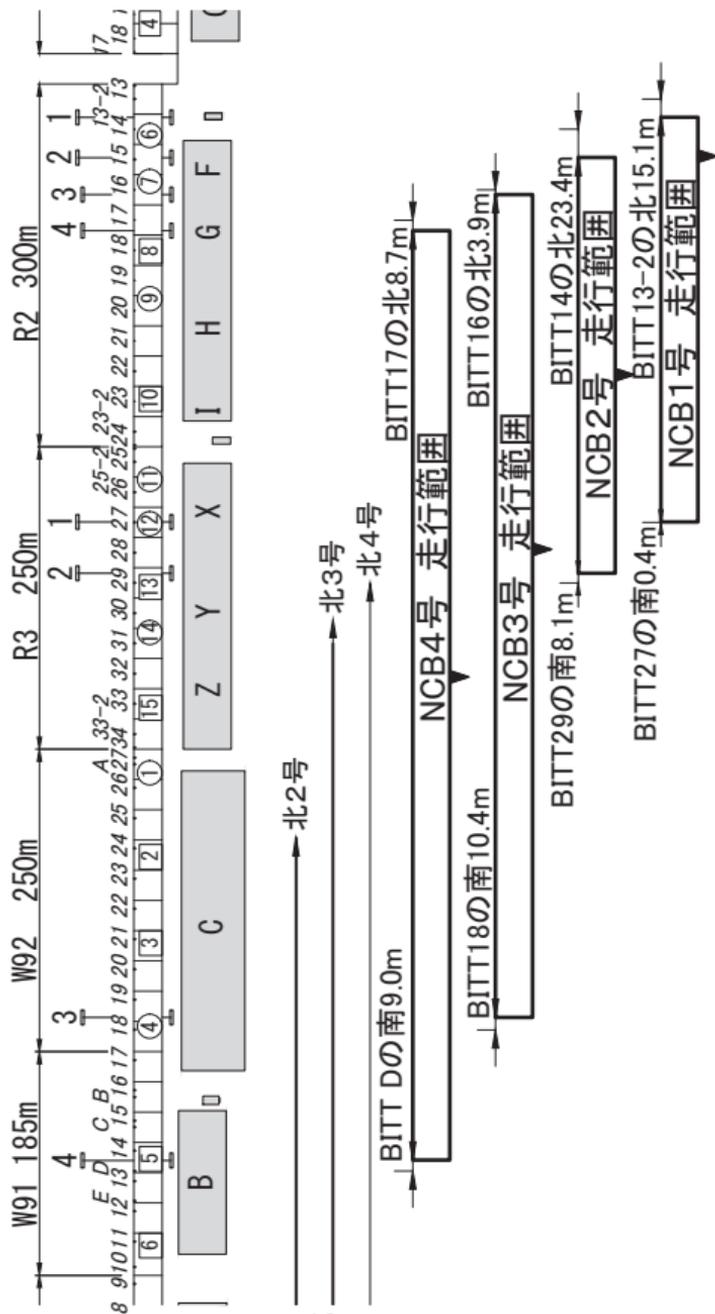
北、NCBの棧橋1スパンあたりの幅は25m、南は35m 2024年12月時点

(図2) 北2~4号 走行範囲

クレーン中心の走行範囲

2024年12月時点





(図3) NCB1～4号 走行範囲

(表3) 名古屋港ガントリークレーン一覧 2024年12月時点

設置ターミナル	飛島ふ頭北	飛島ふ頭北	
クレーン名	2号	3号	
設置者	NPA	NPA	
貸付方式	公共	公共	
製作者	JFE(鋼管)	JFE(鉄構)	
落成年月	1997年7月	1993年6月	
定格荷重 (t)	30.5	30.5	
ハッチカバー (t)	35.6	35.6	
スプレッドワイヤ吊り(t)	8.9×4	8.9×4	
揚程 (m)	海側レール面上	25.0	32.0
	海側レール面下	13.0	13.5
海側レール～HWL (m)	2.22	2.22	
海側レール～LWL (m)	4.79	4.79	
横行 距離 (m)	ハッチリチ(陸側レールから)	9.5	11.0
	アトリチ(海側レールから)	36.0	37.0
	アトリチ(防舷材先端から)	32.7	33.7
海側レール～岸壁法線 (m)	2.5	2.5	
岸壁法線～防舷材先端 (m)	0.8	0.8	
横行駆動方式	ロープトロー	ロープトロー	
電源(ケーブル巻取式)	6600V 60Hz	6600V 60Hz	
クレーン重量 (t)	670.0	717.5	
レールスパン (m)	17.0	17.0	
海側脚間有効幅 (m)	16.5	16.75	
水平材有効高 (m)	14.0	14.0	
列数 段数	13列 3段	13列 5段	
最接近距離 (GC 中心間実測距離)	2-3号 29.00m	3-4号 27.70m	
摘要	2012年3月改造移設 (金城ふ頭W76より) 45ft非対応 モニタリング装置	モニタリング装置	

(表3)

飛島ふ頭北	N C B	N C B
4号	4,3号	2,1号
NPA	NFK	NFK
公 共	専 用	専 用
JFE(マシ)	SHI(三菱)	SHI(三菱)
1996年6月	1996年2月	2011年10月(1号) 2012年3月(2号)
30.5	30.5	40.6
35.6	40.6	40.6
8.9×4	9.0×4	10.15×4
32.0	32.0	34.0
13.5	14.0	15.0
2.22	2.22	2.22
4.79	4.79	4.79
11.0	11.0	11.0
37.0	44.0	48.0
33.7	40.5	44.5
2.5	2.5	2.5
0.8	1.0	1.0
ロープトロリー	ロープトロリー	ロープトロリー
6600V 60Hz	6600V 60Hz	6600V 60Hz
713.7	719.5	935.6
17.0	17.0	28.3
16.75	17.0	17.0
14.0	12.5	12.5
13列 5段	16列 4段	17列 5段
4-4号 28.78m	4-3号 29.98m 3-2号 30.62m	2-1号 32.90m
モニタリング装置	モニタリング装置	カテナリ 陸脚免震装置 モニタリング装置

(表3) 名古屋港ガントリークレーン一覧 2024年12月時点

設置ターミナル	N C B	飛島ふ頭南	
クレーン名	6,5号	5,4号	
設置者	NYP	NPA	
貸付方式	専用	公共	
製作者	E&S(マシ)	JFE(鋼管)	
落成年月	2022年9月	1997年2月	
定格荷重 (t)	(ツイン) 61.0	40.6	
	(シングル) 40.6		
	ハッチカバー (t)		55.0
	スプレッドワイヤ吊り(t)	10.15×4	10.15×4
揚程 (m)	海側レール面上	46.5	36.0
	海側レール面下	18.0	16.0
海側レール ~ HWL (m)	2.22	2.22	
海側レール ~ LWL (m)	4.79	4.79	
横行距離 (m)	ハッチリチ(陸側レールから)	15.0	15.0
	アトリチ(海側レールから)	61.0	48.5
	アトリチ(防舷材先端から)	56.5	44.0
海側レール~岸壁法線 (m)	3.0	3.0	
岸壁法線~防舷材先端 (m)	1.5	1.5	
横行駆動方式	セミロープトロー	ロープトロー	
電源(ケーブル巻取式)	6600V 60Hz	6600V 60Hz	
クレーン重量 (t)	1451.9	850.3	
レールスパン (m)	30.5	30.5	
海側脚間有効幅 (m)	17.5	18.3	
水平材有効高 (m)	14.0	14.0	
列数 段数	22列 8段	17列 6段	
最接近距離 (GC 中心間実測距離)	6-5号 29.44m	5-4号 29.66m	
	5-5号 31.83m	4-6号 34.11m	
摘要	カテナリ スナッグロード保護 船舶衝突防止装置 船底自動減速 モニタリング装置 免震構造	カテナリ モニタリング装置	

(表3)

飛島ふ頭南	飛島ふ頭南	飛島ふ頭南	飛島ふ頭南
6号	2号	1号	3号
NYP	NYP	NYP	NYP
公 共	公 共	公 共	公 共
E&S(造船)	E&S(マシ)	E&S(マシ)	E&S(マシ)
2017年10月	2018年9月	2019年11月	2020年10月
(ツイン) 61.0 (シングル) 40.6	(ツイン) 61.0 (シングル) 40.6	(ツイン) 61.0 (シングル) 40.6	(ツイン) 61.0 (シングル) 40.6
55.0	55.0	55.0	55.0
10.15×4	10.15×4	10.15×4	10.15×4
46.5	46.5	46.5	46.5
18.0	18.0	18.0	18.0
2.22	2.22	2.22	2.22
4.79	4.79	4.79	4.79
15.0	15.0	15.0	15.0
56.0	56.0	56.0	56.0
51.5	51.5	51.5	51.5
3.0	3.0	3.0	3.0
1.5	1.5	1.5	1.5
セミロープトローラー	セミロープトローラー	セミロープトローラー	セミロープトローラー
6600V 60Hz	6600V 60Hz	6600V 60Hz	6600V 60Hz
1225.2	1225.2	1225.2	1225.2
30.5	30.5	30.5	30.5
17.5	17.5	17.5	17.5
14.0	14.0	14.0	14.0
20列 8段	20列 8段	20列 8段	20列 8段
6-2号 33.86m	2-1号 34.31m	1-3号 33.87m	
カテナリ スナック・ロード保護 船舶衝突防止装置 船底自動減速 モニタリング装置	カテナリ スナック・ロード保護 船舶衝突防止装置 船底自動減速 モニタリング装置	カテナリ スナック・ロード保護 船舶衝突防止装置 船底自動減速 モニタリング装置	カテナリ スナック・ロード保護 船舶衝突防止装置 船底自動減速 モニタリング装置

(表3) 名古屋港ガントリークレーン一覧 2024年12月時点

設置ターミナル	鍋田ふ頭	鍋田ふ頭
クレーン名	1,2,3号	4,5号
設置者	NFK	NFK
貸付方式	専用	専用
製作者	川崎重工業(株)	川崎重工業(株)
落成年月	1997年3月	2001年3月
定格荷重 (t)	40.6	40.6
ハッチカバー (t)	35.6	35.6
スプレッドワイヤ吊り(t)	10.15×4	10.15×4
揚程 (m)	海側レール面上	36.0
	海側レール面下	15.5
海側レール～HWL (m)	2.22	2.22
海側レール～LWL (m)	4.79	4.79
横行距離 (m)	ハックリーチ(陸側レールから)	15.0
	アウトリーチ(海側レールから)	48.5
	アウトリーチ(防舷材先端から)	44.0
海側レール～岸壁法線 (m)	3.0	3.0
岸壁法線～防舷材先端 (m)	1.5	1.5
横行駆動方式	ロープトロー	ロープトロー
電源(ケーブル巻取式)	6600V 60Hz	6600V 60Hz
クレーン重量 (t)	907.2	965.0
レールスパン (m)	30.5	30.5
海側脚間有効幅 (m)	18.3	18.3
水平材有効高 (m)	14.0	14.0
列数 段数	17列 6段	18列 6段
最接近距離 (GC 中心間距離)	1-2号 28.12m	4-5号 28.40m
	2-3号 28.12m	5-6号 28.23m
	3-4号 28.30m	
摘要	カテナリ 電気焼却トイレ モニタリング装置	カテナリ 耐震構造 モニタリング装置

(表3)

鍋田ふ頭	鍋田ふ頭	飛島ふ頭南側	飛島ふ頭南側
6号	7,8号	1,2,3号	4,5,6号
NFK	NUCT	TCB	TCB
専用	専用	専用	専用
E&S(造船)	E&S(造船)	SHI(三菱)	SHI(三菱)
2006年9月	2012年3月	2005年9月(2,3号機) 2005年10月(1号機)	2008年9月
40.6	(ツイン) 50.0 (シングル) 40.6	45.0	45.0
40.6	40.6	50.0	50.0
10.15×4	10.15×4	11.25×4	11.25×4
36.0	36.0	40.0	40.0
15.5	15.5	16.5	16.5
2.22	2.22	2.22	2.22
4.79	4.79	4.79	4.79
15.0	11.0	25.0	25.0
50.0	48.5	63.0	63.0
45.5	44.0	56.7	56.7
3.0	3.0	4.0	4.0
1.5	1.5	2.3	2.3
セミロープトロリー	セミロープトロリー	ロープトロリー	ロープトロリー
6600V 60Hz	6600V 60Hz	6600V 60Hz	6600V 60Hz
945.8	979.3	1350.0	1350.0
30.5	30.5	30.5	30.5
18.3	18.3	18.3	18.3
14.0	14.0	14.5	14.5
18列 6段	17列 6段	22列 6段	22列 6段
6-7号 28.20m	7-8号 28.20m	1-2号 27.50m 2-3号 27.50m 3-4号 27.50m	4-5号 27.50m 5-6号 27.50m
カテナリ 耐震構造 モニタリング装置	カテナリ 免震構造 モニタリング装置	カテナリ 免震構造 モニタリング装置 コンテナガイド	カテナリ 免震構造 モニタリング装置

(表4) オーバーハイトアジャスター一覧 2024年12月時点

適合クレーン	北 3,4 号	NCB3,4 号		NCB1,2 号	
ナンバー	—	No.1	No.2	No.3	No.5
設置者	NPA	NFK	NFK	NFK	NFK
製作者	JFE(鉄構)	SHI(三菱)	SHI(三菱)	SHI(三菱)	SHI(三菱)
供用年月	1993年7月	1993年3月	1996年2月	2002年11月	2011年11月
自重(t)	3.7	3.2	3.2	3.2	3.2
定格荷重(t)	30.5	27.3	27.3	37.4	37.4
有効高さ(cm)	200	180	180	180	180
適合サイズ	20,40ft	20,40ft	20,40ft	20,40ft	20,40ft

適合クレーン	NCB5,6 号	南 4,5 号		南 1,2,3,6 号	
ナンバー	No.6	No.3	—	M1	M2 ※
設置者	NYP	NPA	NPA	NYP	NYP
製作者	E&S(マシ)	JFE(鋼管)	JFE(エン)	E&S(造船)	E&S(マシ)
供用年月	2022年9月	2002年	2014年	2017年11月	2020年10月
自重(t)	4.1	2.8	3.7	3.7	4.1
定格荷重(t)	36.5	37.8	36.9	36.9	36.5
有効高さ(cm)	230	150	200	200	230
適合サイズ	20,40,45ft	20,40ft	20,40ft	20,40,45ft	20,40,45ft

※NCB 5,6 号に M2 を取付ける時は当直に連絡。(表紙裏)

(表4)

適合クレーン	鍋田 1～8 号		
ナンバー	No.1	No.2	No.3
設置者	NFK	NFK	NUCT
製作者	SHI(三菱)	JFE(鋼管)	JFE(鋼管)
供用年月	1997年3月	2006年7月	2014年6月
自重(t)	3.7	3.7	3.7
定格荷重(t)	37.4	36.9	36.9
有効高さ(cm)	180	180	200
適合サイズ	20,40ft	20,40ft	20,40ft

適合クレーン	飛島ふ頭南側 1～6 号			
ナンバー	No.1	No.2	No.3	No.5
設置者	TCB	TCB	TCB	TCB
製作者	SHI(三菱)	SHI(三菱)	SHI(三菱)	SHI(住重)
供用年月	2005年11月	2007年6月	2008年12月	2020年7月
自重(t)	3.2	3.2	3.2	3.4
定格荷重(t)	40.0	40.0	40.0	40.0
有効高さ(cm)	180	180	180	250
適合サイズ	20,40,45ft	20,40,45ft	20,40,45ft	20,40,45ft

(表5)

重量物フック一覧

2024年12月時点

適合クレーン	北2号	北3,4号	NCB1,2,3,4号
ナンバー	—	—	—
設置者	NPA	NPA	NFK
製作者	JFE(鋼管)	JFE(鉄構)	SHI(三菱)
供用年月	1997年7月	1993年7月	2002年11月
定格荷重(t)	40.0	42.0	1,2号 47.0 3,4号 43.6
自重(t)	2.5	3.0	2.5

適合クレーン	NCB5,6号	南4,5号	南1,2,3,6号
ナンバー	—	—	—
設置者	NYP	NPA	NYP
製作者	E&S(マシ)	JFE(鋼管)	E&S(造船)
供用年月	2022年9月	1991年3月	2017年11月
定格荷重(t)	75.0	50.0	75.0
自重(t)	3.3	2.5	3.3

適合クレーン	鍋田1~8号	飛島南側1~6号	
ナンバー	No.1	No.1	No.2
設置者	NFK	TCB	TCB
製作者	川崎重工業(株)	SHI(三菱)	SHI(三菱)
供用年月	1997年3月	2005年11月	2008年12月
定格荷重(t)	50.0	65.0	65.0
自重(t)	2.8	3.9	3.9

重量物フックを使用する時は当直に連絡。(表紙裏)

設置者略称

NUCT:名古屋ユナイテッドコンテナターミナル株式会社

TCB :飛島コンテナ埠頭株式会社

NYP :名古屋四日市国際港湾株式会社

NFK :名古屋港埠頭株式会社

NPA :名古屋港管理組合

製作者略称

JFE(エン) : JFE エンジニアリング

JFE(鋼管) : JFE エンジニアリング
(旧日本鋼管)

JFE(鉄構) : JFE プラントエンジニア
(旧川鉄鉄構工業)

JFE(マシ) : JFE プラントエンジニア
(旧川鉄マシナリー)

SHI(住重) : 住友重機械搬送システム

SHI(三菱) : 住友重機械搬送システム
(旧三菱重工業)

E&S(造船) : 三井 E&S
(旧三井造船)

E&S(マシ) : 三井 E&S
(旧三井 E&S マシナリー)

(表7) 自主検査に関する法令

労働安全衛生法 第45条 第1項 抜粋 (定期自主検査) 定期に自主検査を行ない、及びその結果を記録しておかなければならない。
労働安全衛生法 第45条 第3項 抜粋 労働大臣は自主検査の適切かつ有効な実施を図るため必要な自主検査指針を公示する。 (天井クレーンの定期自主指針 昭和60年12月18日 労働省自主検査指針公示第8号)
労働安全衛生法施行令 第12～第15条 関係 (定期に自主検査を行う機械等) つり上げ荷重が3トン以上のクレーン つり上げ荷重が0.5トン以上3トン未満のクレーン
クレーン等安全規則 第34条 抜粋 (定期自主検査) 1年以内ごとに1回、定期に、当該クレーンについて自主検査を行わなければならない。 荷重試験を行わなければならない。
クレーン等安全規則 第35条 抜粋 (定期自主検査) 1月以内ごとに1回、定期に、次の事項について自主検査を行わなければならない。 1 巻過防止装置その他の安全装置、過負荷警報装置その他の警報装置、ブレーキ及びクラッチの異常の有無 2 ワイヤロープ及びつりチェーンの損傷の有無 3 フック、グラブバケット等のつり具の損傷の有無 4 配線、集電装置、配電盤、開閉器及びコントローラーの異常の有無

<p>クレーン等安全規則 第36条 (作業開始前の点検)</p> <p>事業者は、クレーンを用いて作業を行なうときは、その日の作業を開始する前に、次の事項について点検を行なわなければならない。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 巻過防止装置、ブレーキ、クラッチ及びコントローラーの機能 2 ランウェイの上及びトロリが横行するレールの状態 3 ワイヤロープが通っている箇所の状態
<p>クレーン等安全規則 第37条 (暴風後等の点検)</p> <p>事業者は、屋外に設置されているクレーンを用いて瞬間風速が毎秒30メートルをこえる風が吹いた後に作業を行なうとき、又はクレーンを用いて中震以上の震度の地震の後に作業を行なうときは、あらかじめ、クレーンの各部分の異常の有無について点検を行なわなければならない。</p>
<p>クレーン等安全規則 第38条 抜粋</p> <p>(自主検査等の記録)</p> <p>自主検査及び点検の結果を記録し、これを3年間保存しなければならない。</p>
<p>クレーン等安全規則 第39条 抜粋 (補修)</p> <p>自主検査又は点検を行なった場合において、異常を認めるときは、直ちに補修しなければならない。</p>

(表8) クレーンにおける風速の解説

強風時の作業中止風速 クレーン等安全規則第31条の2及び平成4年8月24日基発第480号 事業者は、強風のため、クレーンに係る作業の実施について危険が予想されるときは、当該作業を中止しなければならない。	平均風速10m/s
暴風時の逸走防止装置の使用 クレーン等安全規則 第31条 事業者は、瞬間風速が毎秒30mをこえる風が吹くおそれのあるときは、屋外に設置されている走行クレーンについて、逸走防止装置を作用させる等その逸走を防止するための措置を講じなければならない。	瞬間風速30m/s
クレーン作動時(荷役時)の設計風速 クレーン構造規格 第9条の解説	16m/s
クレーン停止時(暴風時)の設計風速 クレーン構造規格 第9条の解説	55m/s
走行用原動機の設計風速 クレーン構造規格 第42条 屋外に設置される走行クレーンは、逸走を防止するための措置を講ずることができる箇所まで、毎秒16mの風が吹いた場合においても走行させることができる出力を有する原動機を備えるものでなければならない。	16m/s
クランプの設計風速 JIS B 8828-1-2013	35m/s
逸走防止装置の設計風速 クレーン構造規格 第41条の解説	60m/s

用語の定義等

強 風

「強風」とは、10分間の平均風速が10m/s 以上の風をいう。

(平成4年8月24日 基発第480号)

平均風速

ある一定の時間における風速の平均値で気象庁は観測時刻の前10分間の測定値を平均し、その時間の平均風速としている。

瞬間風速

ある時刻の瞬間的な風速であり、気象庁は0.25秒間隔で観測した風速を3秒間で平均した値を瞬間風速として定義している。

最大瞬間風速

気象庁では瞬間風速の最大値としている。

突 風 率 (ガストファクター)

平均風速に対する最大瞬間風速の比。
地域によって異なる。

(気象庁 気象観測ガイドブック)

風向・風速計の設置場所

管理基準となる風速は地上風速を標準とし、コンテナクレーンの上部等に設置した風向・風速計を使用する場合は、コンテナクレーンや地表面等の影響による乱れに留意する必要がある。

(国土交通省 逸走防止のためのモデル運用規程)

2025年

	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
1				1	2	3	4			1	2	3	4	5	7
	5	6	7	8	9	10	11	6	7	8	9	10	11	12	
	12	13	14	15	16	17	18	13	14	15	16	17	18	19	
	19	20	21	22	23	24	25	20	21	22	23	24	25	26	
	26	27	28	29	30	31		27	28	29	30	31			
2							1						1	2	8
	2	3	4	5	6	7	8	3	4	5	6	7	8	9	
	9	10	11	12	13	14	15	10	11	12	13	14	15	16	
	16	17	18	19	20	21	22	17	18	19	20	21	22	23	
	23	24	25	26	27	28		24	25	26	27	28	29	30	
								31							
3							1	1	2	3	4	5	6		9
	2	3	4	5	6	7	8	7	8	9	10	11	12	13	
	9	10	11	12	13	14	15	14	15	16	17	18	19	20	
	16	17	18	19	20	21	22	21	22	23	24	25	26	27	
	23	24	25	26	27	28	29	28	29	30					
30	31														
4			1	2	3	4	5			1	2	3	4		10
	6	7	8	9	10	11	12	5	6	7	8	9	10	11	
	13	14	15	16	17	18	19	12	13	14	15	16	17	18	
	20	21	22	23	24	25	26	19	20	21	22	23	24	25	
	27	28	29	30				26	27	28	29	30	31		
5					1	2	3							1	11
	4	5	6	7	8	9	10	2	3	4	5	6	7	8	
	11	12	13	14	15	16	17	9	10	11	12	13	14	15	
	18	19	20	21	22	23	24	16	17	18	19	20	21	22	
	25	26	27	28	29	30	31	23	24	25	26	27	28	29	
								30							
6	1	2	3	4	5	6	7		1	2	3	4	5	6	12
	8	9	10	11	12	13	14	7	8	9	10	11	12	13	
	15	16	17	18	19	20	21	14	15	16	17	18	19	20	
	22	23	24	25	26	27	28	21	22	23	24	25	26	27	
	29	30						28	29	30	31				

2026年

	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
1					1	2	3				1	2	3	4	7
	4	5	6	7	8	9	10	5	6	7	8	9	10	11	
	11	12	13	14	15	16	17	12	13	14	15	16	17	18	
	18	19	20	21	22	23	24	19	20	21	22	23	24	25	
	25	26	27	28	29	30	31	26	27	28	29	30	31		
2	1	2	3	4	5	6	7							1	8
	8	9	10	11	12	13	14	2	3	4	5	6	7	8	
	15	16	17	18	19	20	21	9	10	11	12	13	14	15	
	22	23	24	25	26	27	28	16	17	18	19	20	21	22	
								23	24	25	26	27	28	29	
								30	31						
3	1	2	3	4	5	6	7			1	2	3	4	5	9
	8	9	10	11	12	13	14	6	7	8	9	10	11	12	
	15	16	17	18	19	20	21	13	14	15	16	17	18	19	
	22	23	24	25	26	27	28	20	21	22	23	24	25	26	
	29	30	31					27	28	29	30				
4					1	2	3	4				1	2	3	10
	5	6	7	8	9	10	11	4	5	6	7	8	9	10	
	12	13	14	15	16	17	18	11	12	13	14	15	16	17	
	19	20	21	22	23	24	25	18	19	20	21	22	23	24	
	26	27	28	29	30			25	26	27	28	29	30	31	
5						1	2	1	2	3	4	5	6	7	11
	3	4	5	6	7	8	9	8	9	10	11	12	13	14	
	10	11	12	13	14	15	16	15	16	17	18	19	20	21	
	17	18	19	20	21	22	23	22	23	24	25	26	27	28	
	24	25	26	27	28	29	30	29	30						
31															
6		1	2	3	4	5	6			1	2	3	4	5	12
	7	8	9	10	11	12	13	6	7	8	9	10	11	12	
	14	15	16	17	18	19	20	13	14	15	16	17	18	19	
	21	22	23	24	25	26	27	20	21	22	23	24	25	26	
	28	29	30					27	28	29	30	31			

2027年

	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
1						1	2					1	2	3	7
	3	4	5	6	7	8	9	4	5	6	7	8	9	10	
	10	11	12	13	14	15	16	11	12	13	14	15	16	17	
	17	18	19	20	21	22	23	18	19	20	21	22	23	24	
	24	25	26	27	28	29	30	25	26	27	28	29	30	31	
	31														
2		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	8
	7	8	9	10	11	12	13	8	9	10	11	12	13	14	
	14	15	16	17	18	19	20	15	16	17	18	19	20	21	
	21	22	23	24	25	26	27	22	23	24	25	26	27	28	
	28							29	30	31					
3		1	2	3	4	5	6			1	2	3	4	9	
	7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10		11
	14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17		18
	21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24		25
	28	29	30	31				26	27	28	29	30			
4					1	2	3						1	2	10
	4	5	6	7	8	9	10	3	4	5	6	7	8	9	
	11	12	13	14	15	16	17	10	11	12	13	14	15	16	
	18	19	20	21	22	23	24	17	18	19	20	21	22	23	
	25	26	27	28	29	30		24	25	26	27	28	29	30	
								31							
5							1		1	2	3	4	5	6	11
	2	3	4	5	6	7	8	7	8	9	10	11	12	13	
	9	10	11	12	13	14	15	14	15	16	17	18	19	20	
	16	17	18	19	20	21	22	21	22	23	24	25	26	27	
	23	24	25	26	27	28	29	28	29	30					
	30	31													
6			1	2	3	4	5				1	2	3	4	12
	6	7	8	9	10	11	12	5	6	7	8	9	10	11	
	13	14	15	16	17	18	19	12	13	14	15	16	17	18	
	20	21	22	23	24	25	26	19	20	21	22	23	24	25	
	27	28	29	30				26	27	28	29	30	31		

2029年

	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
1		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	7
	7	8	9	10	11	12	13	8	9	10	11	12	13	14	
	14	15	16	17	18	19	20	15	16	17	18	19	20	21	
	21	22	23	24	25	26	27	22	23	24	25	26	27	28	
	28	29	30	31				29	30	31					
2					1	2	3				1	2	3	4	8
	4	5	6	7	8	9	10	5	6	7	8	9	10	11	
	11	12	13	14	15	16	17	12	13	14	15	16	17	18	
	18	19	20	21	22	23	24	19	20	21	22	23	24	25	
	25	26	27	28				26	27	28	29	30	31		
3					1	2	3							1	9
	4	5	6	7	8	9	10	2	3	4	5	6	7	8	
	11	12	13	14	15	16	17	9	10	11	12	13	14	15	
	18	19	20	21	22	23	24	16	17	18	19	20	21	22	
	25	26	27	28	29	30	31	23	24	25	26	27	28	29	
4	1	2	3	4	5	6	7		1	2	3	4	5	6	10
	8	9	10	11	12	13	14	7	8	9	10	11	12	13	
	15	16	17	18	19	20	21	14	15	16	17	18	19	20	
	22	23	24	25	26	27	28	21	22	23	24	25	26	27	
	29	30						28	29	30	31				
5			1	2	3	4	5					1	2	3	11
	6	7	8	9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	10	
	13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17	
	20	21	22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23	24	
	27	28	29	30	31			25	26	27	28	29	30		
6					1	2								1	12
	3	4	5	6	7	8	9	2	3	4	5	6	7	8	
	10	11	12	13	14	15	16	9	10	11	12	13	14	15	
	17	18	19	20	21	22	23	16	17	18	19	20	21	22	
	24	25	26	27	28	29	30	23	24	25	26	27	28	29	
								30	31						

コンテナバース供用時期

昭和43年 1968	W76,77	平成 9年 1997	T1,W93
昭和44年 1969		平成10年 1998	
昭和45年 1970		平成11年 1999	
昭和46年 1971		平成12年 2000	
昭和47年 1972	R1,R2	平成13年 2001	T2
昭和48年 1973		平成14年 2002	
昭和49年 1974		平成15年 2003	
昭和50年 1975		平成16年 2004	
昭和51年 1976		平成17年 2005	TS2
昭和52年 1977		平成18年 2006	
昭和53年 1978		平成19年 2007	
昭和54年 1979		平成20年 2008	TS1
昭和55年 1980		平成21年 2009	W76,77廃止
昭和56年 1981		平成22年 2010	
昭和57年 1982		平成23年 2011	
昭和58年 1983	R3	平成24年 2012	T3
昭和59年 1984	W90,91,92	平成25年 2013	
昭和60年 1985		平成26年 2014	
昭和61年 1986		平成27年 2015	
昭和62年 1987		平成28年 2016	
昭和63年 1988		平成29年 2017	
昭和64年 1989		平成30年 2018	
平成 1年 1989		平成31年 2019	
平成 2年 1990		令和元年 2019	R1停止
平成 3年 1991	W94	令和2年 2020	
平成 4年 1992		令和3年 2021	
平成 5年 1993		令和4年 2022	R1再稼働
平成 6年 1994		令和5年 2023	
平成 7年 1995		令和6年 2024	
平成 8年 1996		令和7年 2025	

ガントリークレーン運転手帳（電子版）は
下記 QR コードを読み取りください。



<https://www.nptc.co.jp/container/index4.html#east03>

氏 名	
携帯番号	
住 所	
会 社 名	
会社電話番号	